

12月定例会
ピックアップ
pick up

〔議案第4号〕

塩尻市立小学校、中学校条例の一部を改正する条例
(社会文教常任委員会付託)

全会一致
可決

塩川地区にある小学校及び中学校を廃止し、新たに義務教育学校を設置することに伴う改正

◆概要

塩尻市立木曾榑川小学校及び榑川中学校を廃止し、新たに塩尻市立榑川小学校を設置することに伴い、名称及び位置を定めるもの、また関連する7つの条例について改正または廃止する。

◆委員会Q&A

Q 一般の小中学校と、9年間の小中一貫校とした場合の違いは。

A 教職員は小学校、中学校両方の免許を持っていることが望ましい。

また他校からの転出入の際には、従来の学年の区切りではないことを丁寧に説明することが必要。

Q 児童生徒数の推移と教職員数の維持は。

A 今年度の児童生徒の合計数は101人、令和4年が98人、令和8年では75人と、年々減少の見込みである。教員数はクラス数で配置されるので、令和4年度の配置数が維



木曾榑川小学校

持されていく。

今後さらに減少が続き複式学級になるころには別の検討をしなければならなくなるが、そうならないように、小規模特認校制度を導入するなど、児童生徒が多く通学してもらえような取り組みが大事と考える。

12月定例会
ピックアップ
pick up

〔議案第8号〕

令和3年度塩尻市一般会計補正予算(第10号)
(企画費 塩尻型Maas構築事業)
(予算決算常任委員会付託)

全会一致
可決

塩尻型Maas構築事業負担金2500万円

◆概要

二つの実証事業に関わる経費。

一つは自動運転の社会実装に向けた取り組みとして、昨年に引き続き、タクシー型自動運転車両による実証実験を塩尻駅から市役所の間を行う。二つ目が医療における広域連携

Maasアプリの設計もしくは課題の抽出の事業を行い、塩尻市民が松本市の総合病院へ通院することを想定し、のると、JR、松本市のタウンスニーカーを活用した移動についてアプリの開発に繋げる取り組みを行う。

Q タクシー型自動運転の実証について、信号機との連携は。

A 塩尻駅から市役所まで3基の信号機があり、リアルタイムで信号の情報を車両に通知し円滑な減速、加速の運行を検証している。また、市役所前の信号機では路上駐車、横断歩道の歩行者も検知している。



タクシー型自動運転車両

Q 自動運転実証の目的と将来の姿は。

A 国が2025年に全国40箇所での実証を計画しており、本市も選定を目指している。地方での公共交通利用、脱炭素の政策も含めて総合的に目指す将来像を検討していきたい。

〔要望〕 公共事業としての実証事業であり、費用対効果及び市民への利益を数値化して公表していただきたい。